

事業番号	076
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小売商業支援事業						担当部	地域活性化営業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工振興課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	商工労政係							
	総合計画 分野別計画	主目的	5 産業・交流		20 商工業		2 既存商工業の経営を支援します									
		副目的														
	予算区分	款	7		項	1		目	2		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市商業団体等事業費補助金交付要綱、小牧市小売商業振興対策促進利子補給補助金交付要綱														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	中小小売業者及び商業団体に対し、環境の変化や近代化に対応するための設備投資や商業団体活動に係る費用の一部を補助し、小売商業の活性化を促進する。														
	内容 (手段)	<p>【平成25年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小売商業振興対策促進利子補給補助金 中小小売業者及び商業関係組合に対し、愛知県の小規模企業等振興融資のうち設備に係る融資を受けたものに対して、利子の一部を補助した。790千円</li> <li>・商業団体等補助金 商店街の活性化を図るために、商業団体等が実施する事業や街路灯の撤去、修繕に補助をした。6,937千円</li> </ul> <p>【平成25年度その他直接経費の内訳】 普通旅費(7千円)、消耗品費(143千円)</p> <p>【平成26年度直接経費の内訳】 普通旅費(24千円)、消耗品費(180千円)、商業団体等補助金(6,800千円)、小売商業振興対策促進利子補給補助金(1,500千円)</p>														
	受益者負担	無														

コスト			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
	費用	直接経費		千円	14,453	8,124	7,877
正職員		従事者数	人	0.79	0.10	0.10	0.10
		人件費	千円	4,155	526	526	526
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	18,608	8,650	8,403	9,030	
対前年比		%		46.4	97.1	107.4	
財源	一般財源		千円	16,945	8,650	8,403	9,030
	国・県支出金		千円	1,663	0	0	0
	その他財源		千円	0	0	0	0

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	小売商業振興対策促進利子補給補助	件	目標	—	—	—
実績				51	30	17	
商業団体事業費補助		団体	目標	—	—	—	
			実績	14	13	13	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	小売商業振興対策促進利子補給補助	件	目標	—	—	—	—
実績			51	30	17		
				目標			
				実績			

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	・小売商業振興対策促進利子補給事業や商業団体等補助事業を実施し、小売商業の活性化推進に努めた。				
		事業実施における課題	・商業団体は構成員の高齢化や団体加入者の減少により、弱体化が進んでおり、街路灯の管理のみを団体活動として行っているところが半数を占めている。また、年々商業団体の解散も進んでいる。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	・小売商業者及び商業団体の衰退が更に加速することが予測される。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	・小売商業者、商業団体が直面する課題に対応するような支援策について検討する。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
		判定理由	・昨今の経済情勢から、小売商業者を取り巻く状況は依然厳しく、地域商業者の支援のため補助事業は必要である。				
27年度以降の改善案		・小売商業者、商業団体が直面する課題に対応するような支援策について、平成26年度の検討結果、有効な方策があれば実施する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。